

令和 7 年 8 月 22 日

南箕輪村議会議長 様

提出者名 西森一博

## 議員研修・議員視察結果報告書

研修名または視察テーマ	森林・林業・林産業活性化促進議員連盟
研修・視察実施場所	岡谷カノラホール 小ホール
研修・視察の期間	令和 7 年 8 月 20 日
研修・視察の成果等	<p>研修題名「木材のサプライチェーンマネジメント」林業と小売業をつなぐ活動をされているノースジャパン素材流通協働組合 理事長 鈴木信哉氏から、木材流通の現状と今後の課題についてお話を聞いた。</p> <p>現在、国内で流通している木材のうち、国産材の利用率は約 50%となっています。しかし、近年、海外材の価格高騰や輸入量の減少により、国産材の需要が急速に高まっています。特に、これまであまり活用されていなかった広葉樹の利用が進んでいるほか、カラ松の需要も非常に高くなっている。</p> <p>用途の多様化も進んでおり、ナラの木材はピザやパンを焼くための薪として、サクラやリンゴの木材は燻製用として使われるなど、新たな市場が開拓されています。組合の取り組みにより、国産材の利用率は A 材から D 材まで含め、90%～95%という高い水準を達成している。</p> <p>木材の需要が高まる一方で、流通には多くの課題があることが指摘されました。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● <b>情報共有の不足：</b>林業者と小売業者の間で、「どんな種類の木材がどれだけ必要なのか」という情報が共有されていないため、需要に合わせた供給が難しい状況。</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>輸送コストの課題：</b>丸太の県内完結が少なく、遠方への輸送が必要となるケースが多いため、運賃が高くなりがちです。輸送コストを下げるためには、<b>林道の整備</b>が重要である。</li> <li>• <b>在庫管理の課題：</b>「アメーバ方式」と呼ばれる、関係者がストックを共有する供給方式の必要性が提案されました。これにより、安定した供給体制を築くことができます。</li> <li>• <b>季節による作業の工夫：</b>夏と冬で仕事のやり方や場所を工夫する必要があるなど、季節的な要因も考慮した計画性が重要となります。</li> </ul> <p>今回の研修会を通して、木材の安定的な供給には、川上（林業）と川下（小売業）が連携し、効率的なサプライチェーンを構築することが不可欠であるという認識を深めることができた。</p>
--	---

※研修・視察終了後、議長または委員長が定めた期日までに提出すること。